

平成26年度 第17回 数理分子生命理学セミナー

日時：平成26年10月22日(水) 14:35～

場所：理学部 E210 講義室

講師：上脇 隼一 先生 (クロマチン動態数理・研究員)

演題：タンパク質に含まれる天然変性領域の役割

要旨：タンパク質はそれぞれ独自の立体構造を持ち生体内で働いている。それらの中には天然変性 (intrinsically disordered: ID) 領域と呼ばれる明確な立体構造を持たない領域を持つタンパク質も存在している。近年、ID 領域はタンパク質の機能発現に重要な役割をしていることが明らかになってきており、研究が盛んにおこなわれている。しかし、一般的にID 領域は、X線結晶構造解析やNMRでは構造情報を得ることは困難である。

現在、私たちはID 領域をもつクロマチンリモデリングタンパク質 FACT の研究を行っている。FACT はID 領域がリン酸化修飾を受けることにより、その機能が制御されることが報告されている。

本セミナーでは私たちが現在行っている FACT の研究に加え、他のID 領域をもつタンパク質の研究についても紹介する。